

## 要 請 書

流山市長 井崎 義治 様

2022年4月22日  
日本共産党流山市議団  
いぬい 紳一郎  
植 田 和 子  
高 橋 あきら  
小田桐 たかし

令和4（2022）年度がスタートしたものの、急を要するものについて、以下、対策を講じるよう求める。

### 1、「第7波」も予測される新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 医療機関、学校、保育園等、定期・頻回検査を実施すること。
- (2) 陽性者搬送に帯同した救急隊員についてはPCR検査を実施すること。
- (3) 身体的ケアが不可欠であり、マスク着用及びワクチン接種の現状を考慮し、市立保育所内消毒作業に対する防疫手当を支給すること。また認可私立園における休園拡大の実態を踏まえ、保育士等従事者への危険・慰労手当を市独自に支給すること。
- (4) 千葉県に対し松戸保健所の体制大幅拡充とともに、県立保健所の市内誘致を要請すること。

### 2、家庭用指定ごみ袋について

#### (1) 未回収のごみ袋対策について

- ア 気温が高くなってきたことから、生ごみを含む燃えるごみは指定袋以外でも回収し、地域の公衆衛生を保つこと。
- イ 未回収としたごみ袋のうち指定ごみ袋以外の袋の使用のため未回収となったごみ袋の実態について早急に把握すること。また、その要因を市として把握し、必要な手立てを打つこと。
- ウ ごみ集積所を管理している自治会からの問い合わせに対し、指定ごみ袋に入れ替えるよう電話対応がされている。自治会の責任によらないことから、回収要請には早急に応えること。

- (2) 公園周辺や緑地、街路樹の落ち葉清掃については、市民のご厚意で取り組んでいる経緯があることから、指定ごみ袋以外でも回収すること。
- (3) 指定ごみ袋の不当表示（表示容量と実際容量との差）を是正すること。
- (4) 市民の不満が払しょくされていない下で、全国各自治体の指定ごみ袋に対しても値上げがされていることから、これまでの「透明または半透明」の袋でも一緒に回収し、無用な混乱の解消等にあたること。

また、指定ごみ袋導入を契機に、監視カメラ設置など住民同士の摩擦も発生しており、市としても住民間の分断を解消するため適宜対応を図ること。

- (5) 指定ごみ袋の導入効果を検証し、科学的データに基づき、施策の効果や評価を検証すること。
- (6) 事業系ごみの減量をさらに進める取り組みを具体化すること。

### 3. その他

- (1) コロナ禍と過去に例を見ない物価等の高騰を踏まえ、市内全営業所の実態調査を行うとともに、委託事業等（一般廃棄物等収集運搬、学校給食、保育園給食、入浴施設付き福社会館や森の倶楽部等指定管理業務、ウイングホールやみどり園等東葛中部地区総合開発事務組合、公共施設への電力供給など）での経費高騰の影響等、丁寧な聞き取りを行い、可能な限り早急な対応を図ること。また以下、国・政府へ要請すること。
  - ・消費税5%への緊急減税を導入し、インボイスは導入中止をすること。
  - ・原油高対策として、燃料価格を引き下げること。また小麦の政府売り渡し価格を引き下げること。
  - ・急激な物価高に対応する生活保護基準を引き上げること。また、困窮者への支援金拡充、事業復活支援金を持続化給付金並みに拡充し、家賃支援給付金の再支給などコロナ対策の抜本的に強化をすること。
  - ・年金削減や医療費負担増を中止すること。
  - ・円安を誘導し、輸入価格を引き上げる「異次元の金融緩和」政策の抜本的転換を図ること。
- (2) 参院厚生労働委員会は4月12日、女性支援新法の委員会提出を全会一致で決定し、DV(配偶者からの暴力)や性被害、生活困窮などに直面する女性への支援を強化する根拠法を制定する方向であることから、市組織上も、必要な体制強化を図ること。
- (3) 年2回「ごみゼロ」を「地域清掃」に変更したことで、一部自治会から不満の声が聞かれる。今年度、再度説明の場を設け、自治会・コミュニティの形成・醸成と地域清掃の意義について理解を得ること。